

平成22年度 上小阿仁村立上小阿仁小・中学校 学校評価書(前期)

A 学校教育目標

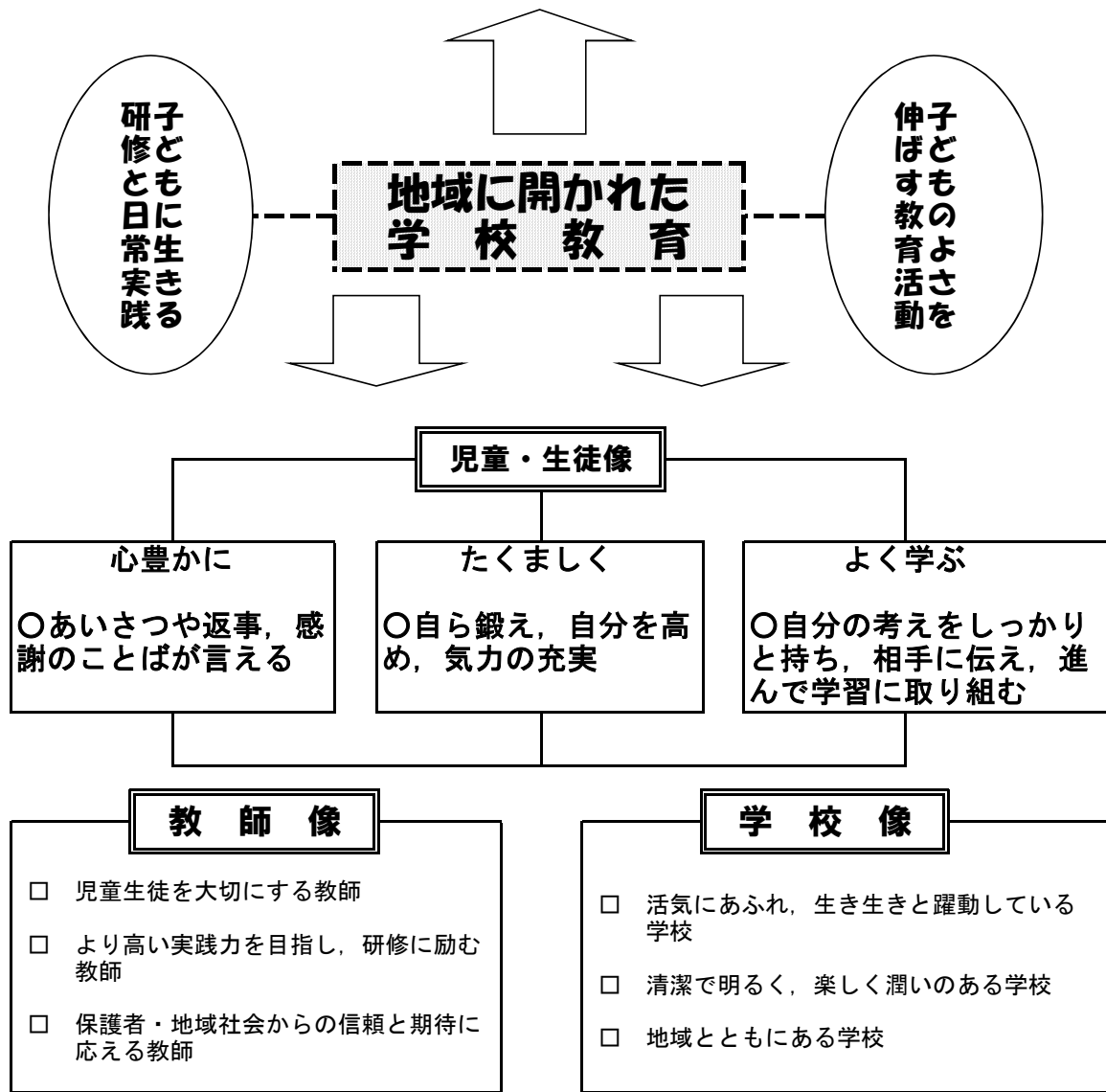
たくましく うつくしく 未来を拓く

B 本年度の重点目標

1. 明るく楽しく、安心して生活できる教育環境づくり（個を生かす経営、地域素材と人材の活用）
2. 個に応じた授業を展開し、確かな学力の定着（少人数学習、7年間・9年間プランの活用）
3. 一人一人の個性の伸長（体力づくり、家庭・地域との連携、進路意識の高揚）
4. 主体的な研修を推進し、信頼される教職員としての資質の向上（授業力の向上、確かな学びの実現）

C 学校経営の特徴

- 小中併設校の特色をいかし、9年間の育ちを見据えた経営
- 学力の向上を目指し、小中一体となった指導・支援の強化
- 家庭や地域と連携した郷土に根ざした特色ある教育活動の推進
- 実践的指導力を高める校内外研修の充実



ア 児童生徒の状況

I 自主的・自律的な生活

児童生徒の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
規律ある生活の中で、明るく心のこもったあいさつや返事、感謝のことばを言える主体性や責任感をはぐくもうとしている。	前期	概ね良好	概ね良好	日常の生活の中で、家庭や地域と連携しながら身に付けてほしい。
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	【前期(→年度)】	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつについては、校内、校外を含めて、良好と評価できるが、小学生にやや元気のなさが見られた。更に、心のこもったあいさつを目指したい。 ・生徒は、けじめのある生活を送っていると意識しているが、保護者の視点からは不足していると感じている家庭が1/4程度あった。 ・集団生活、集団活動については、概ね良好な取り組みと感じている。 		
	【年度(→次年度)】	<ul style="list-style-type: none"> →子どもとの意識のずれをどう解消していくかが課題。中学生には目安箱の活用方法を再考させる必要がある。 →学校祭等の行事を中心に、より主体的な児童生徒会活動、学級活動を進めたい。 		

II 思いやりの心・たくましい心

児童生徒の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
互いのよさを認め合い、思いやりの心やたくましい心、豊かな人間性をはぐくもうとしている。	前期	概ね良好	概ね良好	現状を把握して、より一層の強化を図る。
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	【前期(→年度)】	<ul style="list-style-type: none"> ・明るさとやる気をはぐくむ学級経営は、おおむね良好である。学校が楽しいと感じている児童生徒が多い。 ・班、係活動などで、決められたことはしっかりと出来るが、創意ある活動には至っていない。 ・友人関係など良好であるが、感謝の言葉を自然に言えるところまでは育っていない。 		
	【年度(→次年度)】	<ul style="list-style-type: none"> →学級の時間を大切に、生活指導、学習指導、進路指導などでもっと充実したものになるよう時間確保に努める。 →図書館及び図書コーナーが児童生徒に活用しやすいように整備を進め、心の栄養となる図書の活用を図る。 →心のノートを活用しながら、道徳の授業の充実を図る。また、アンテナを高くし、子どもの変容に気付く努力をする。 		

III 健康と体力

児童生徒の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
食や運動を通じて健康や体力への関心をもち、望ましい生活習慣を形成しようとしている。	前期	概ね良好	概ね良好	家庭との食生活の連携を図っていく必要がある。
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	【前期(→年度)】	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年同期に比べ、う歯なしの児童生徒が増え、未処置者が減少したことは、これまでの歯磨き指導や家庭との連携の成果と考える。 ・食事の指導については、学年によって好き嫌いも見られるが、小学生全般に食が細く、メニューの工夫や食事指導を行っている。食の細さや偏食傾向を保護者にも理解してもらいたいし、連携して指導にあたりたい。 ・体力面については、昨年度の新体力テストの結果からも分かるように、現6年生の男子が全国平均より下回っている。 		
	【年度(→次年度)】	<ul style="list-style-type: none"> →機会(学校保健委員会、PTA研修会、講演会等)を設けて、啓発を図りたい。 →小学校では、体育や休み時間、放課後等を活用しながら、継続的な体力づくりを進めていきたい。 		

IV 基礎学力

児童生徒の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
基本的学習習慣を身につけさせながら、学力を向上させようとしている。	前期	やや不足	概ね良好	更に実践を重ね、成果を期待する。
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	【前期(→年度)】 ・H22.4月の全国学力・学習状況調査において、小6、中3ともに概ね全国平均値並みであったが、県平均中間値に比べると小6が特に下回っていた。当該学年のH21.12月実施の県学習状況調査に比べても下降気味である。 ・教職員は、日々の授業で、表現力を高める工夫、夏休み中の学習会や家庭学習の充実による基礎学力の向上に努めている。児童生徒の家庭学習の習慣化が、向上してきている。 →小中併設校の特色を生かし、教員の連携をより密にし、より質の高い授業を目指したい。 →部活動や行事もなく、補習にじっくり取り組める時間を生み出す工夫をする。			
	【年度(→次年度)】			

イ 学校運営の状況

V 組織運営

学校の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
教職員が重点目標を意識し、主体的かつ組織的に取り組んでいる。	前期	概ね良好	良好	引き続き、校風を生かした学校運営をしてほしい。
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	【前期(→年度)】 ・学校教育目標等、学校経営の方針は、児童生徒及び保護者にも比較的浸透している。 ・組織としての小中連携が、質を伴うレベルになってきている。特に中学校教員の兼任により、昨年度に比べ小学校が充実してきている。また、教務レベルの連携も実に行われるようになってきた。 ・総合的な学習の時間等を活用した特色ある教育活動事業を推進するにあたり、教職員は多忙感を感じながらも前向きに取り組んでいる。児童生徒にとっては楽しく充実した取組が展開されているので、更に精選し、子どもの活力を教師の活力へ、そして学校の活力へとつなげていきたい。 →評価が生きる経営に努めたい。			
	【年度(→次年度)】			

VI 保護者・地域との連携

学校の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
学校の取り組みが理解され、保護者や地域の教育力が生かされている。	前期	概ね良好	良好	引き続き、保護者や地域との連携を深め取り組んでいただきたい。
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	【前期(→年度)】 ・個々の児童生徒の保護者とは、連絡を密にして指導にあたっている。 ・地域学校支援本部事業により、地域人材の活用が効果的に行われ、教育効果を高めている。 ・事業の活用により学校のHPが発信され(7/8)、たくさんの方々から見ていただいている。(9/9現在;約500件) ・地域行事への参加は、比較的良好である。 →学校祭での郷土芸能の発表や村産業祭への参加を通して、一層地域との関わりを探りたい。			
	【年度(→次年度)】			